

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06364	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	ヘテロ接合型人工微細構造による 赤外エネルギーハーベスタ	研究代表者 (所属・職) (平成31年3月現在)	長尾 忠昭 (物質・材料研究機構・国際ナノ アーキテクトニクス研究拠点・グ ループリーダー)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、研究代表者が実績を有する電磁波の輻射・吸収に関わる研究要素に、材料開拓・微細構造制御という新たな基軸を加えることで、赤外エネルギーハーベスティングに関わる学術基盤の強化を図るものである。</p> <p>当初予定していた研究計画の一部に変更がなされているものの、材料開拓については複数の有望物質系を見いだしているほか、デバイス開発についても赤外輻射と電気エネルギーの変換に関わる研究成果を収めている。今後、当初の研究目標に掲げた「材料選択・設計の指導原理の構築」と「革新的創エネルギー材料やシステムの創成」の達成に向けて、研究を一層強固に進めてほしい。</p>		